

平成27年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	補体ファミリー分子によるシナプス形成・維持・除去と可塑性制御機構の解明
研究代表者	柚崎 通介（慶應義塾大学・医学部・教授）
研究期間	平成27年度～平成31年度
審査結果の所見	<p>補体ファミリーによるシナプス形成機構への役割の発見は、応募者の独創的業績であり、新分野を開拓してきた。この業績は、神経科学の中の神経細胞興奮性の領域では、先端研究として注目を集めている。本研究は、「こころ」の実態である神経活動と免疫・代謝調節による生体恒常性調節の新概念を構築する研究であり、その学術的価値は高い。応募者のシナプス分子に結合する補体ファミリー分子群の生理学的研究提案においては、精神疾患への関与や精神疾患の治療応用の可能性も示唆されており、社会的な意義も大きいと思われる。</p> <p>以上の理由により、基盤研究（S）として採択すべき課題であると判断した。</p>